### eLTAX利用サービス提供業務委託 事業者選定基準

提案書評価に当たり、提案内容を公平かつ客観的に評価し、最適な事業者を選定する ために、システム機能面及び価格面の2つの観点で評価する。

#### 1 基本的な考え方

契約候補者の決定に当たっては、本県にとって最適な事業者を選定するため、提案内容の評価に提案価格等の評価を加算する採点方式を採用し、総得点の最も高い参加者を契約候補者とする。

#### (1) 提案内容の評価

「提案書記載依頼事項」に基づき提案内容を評価し、システム機能面に対する点数 (以下、「機能評価点」という)を与える。

## (2) 提案価格等の評価

提案価格等については、後に示す計算式に基づき、提案価格等に対する点数(以下、「価格評価点」という)を与える。

## (3) 評価の方法及び契約候補者の決定方法

上記(1)及び(2)で評価した、「機能評価点」及び「価格評価点」の合計点数 が最も高い者を契約候補者とする。

#### (4) 有効数字

「機能評価点」及び「価格評価点」の算出にあたっては、小数点以下1桁までを有効とし、小数点以下2桁目で四捨五入する。

- (5) 合計点数の最も高い者が2以上あるとき(同点のときの対応) 以下の順で契約候補者を決定する。
  - ア 参加者それぞれの「機能評価点」、「価格評価点」が異なる場合 「機能評価点」が高い者を契約候補者とする。
  - イ 参加者それぞれの「機能評価点」、「価格評価点」が同じ場合 「提案価格」が低い者を契約候補者とする。

なお、「提案価格」が同じ場合は、当該参加者にくじを引かせ、契約候補者を 決定するものとする。

# 2 システム機能面の評価

システム機能面の評価は、提案書に基づいて以下の手順で行う。

#### (1) 大分類の設定

次のとおり大分類を設定する。

- ア 本委託業務で提供されるクラウドサービス
- イ 初期導入業務
- ウ 運用・保守業務
- エ その他サービス・その他業務
- オ 実績及び業務遂行体制

## (2) 配点方法

粗機能評価点の満点を2000点として、次のように上記アからオ単位に点数を配点する。

粗機能評価点から1000点(基礎点)を控除した点数を機能評価点とする。このため、1000点が機能評価点の満点となる。

#### 〈配点設定〉

ア 本委託業務で提供されるクラウドサービス : 600点 (7項目) イ 初期導入業務 : 300点 (4項目) ウ 運用・保守業務 : 660点 (8項目) エ その他サービス、その他業務 : 240点 (3項目) オ 実績及び業務遂行体制 : 200点 (3項目)

### (3) 項目加重点の考え方

重要度に応じて、 $1\sim5$ までの項目加重点を項目ごとに設定する。項目加重点は、1が最も低く、5が最も高い。

#### (4) 項目評価点の考え方

評価項目単位の採点は1~5点までの5段階絶対評価を行う。

- ア 本県で想定していた提案であれば「3点」(以下、基準点)とする。
- イ 非常に優れた提案は「5点」とする。
- ウ 非常に低いレベルの提案は「1点」とする。
- エ 何も記述のないものは「0点」とする。
- オ その中間レベルには「4点」、「2点」とする。
- カ 同点の者が2者以上あり、提案内容に差がある場合は、他とのバランスを考慮した上で1点加点/減点する。

#### (5)機能評価点の計算

機能評価点は、粗機能評価点から1000点(基礎点)を控除した点数とする。 粗機能評価点の計算は以下の式で行う。

調整後項目評価点=項目加重点×項目評価点

大分類評価点=大分類の中での調整後項目評価点の合計 調整後大分類評価点=大分類配点×(大分類評価点/大分類満点)

- ・ 大分類配点は選定基準2 (2) の〈配点設定〉の各大分類の配点
- ・ 大分類満点は大分類内のすべての評価項目の項目評価点が5点であったと きの大分類評価点

粗機能評価点=調整後大分類評価点の合計

## 3 価格面の評価

価格面の評価は、提案見積に基づいて以下の手順で行う。

(1) 大分類の設定

次のとおり大分類を設定する。

- ア 本委託業務で提供されるクラウドサービスにかかる費用
- イ 初期導入業務にかかる費用
- ウ 運用・保守業務にかかる費用

# (2) 参加者の価格評価点の算出式

価格評価点は次のように算出する。

価格評価点=1000× (1-参加者の全体総費用/本県の評価基準価格)

なお、参加者の全体総費用は、(1)大分類のア、イ、及びウの金額の総額とし、 本県の評価基準価格は、以下の金額とする。

また、全体総額が評価基準価格を超える見積が提出された場合は、契約候補者としない。

評価基準価格:29,502千円

## 4 全体の点数配分

機能評価点と価格評価点のバランスについては、2対1とする。したがって参加者の 獲得する合計点数は、機能評価点×2と価格評価点の和となる。